

フェニックス・アシスタント（PA）制度の創設について

広島大学では、学生が本学運営支援業務に従事する「フェニックス・アシスタント制度」を平成22年度から開始します。

（趣旨・目的）

フェニックス・アシスタント（PA）とは、広島大学における運営業務に参加して支援（アルバイト）を行う学生の名称です。

フェニックス・アシスタント制度は、学生による大学運営支援業務への支援（学内アルバイト）制度で、大学の業務の一部について、学生が行うことにより教育的効果がある業務および学生の視点からの提案を生かせる業務に従事する学生を、広島大学運営の支援者（業務支援者）として位置付けるものです。

（効果）

1. 在学中の学内における就業経験の提供（キャリア支援と学生の教育）
2. 大学運営の活性化（学生の視点による提案活用）
3. 学生への近距離アルバイトの提供による経済的支援と学習時間の確保

（仕組み）

- ・業務に従事する学生は、社会人マナー、大学の組織構成、個人情報等の取り扱いなどの研修を受講します。
- ・業務内容によっては、一定の資格を求める業務もあります。
- ・募集は公募形式とし、可能な限り多くの学生に業務の機会を与えられるよう配慮します。
- ・雇用終了後は、簡単なレポート（業務改善などの提案）を提出していただき、今後の大学運営の改善などに役立てます。

(登録方法)

- ・ P Aとしての雇用を希望する学生は、各個人が、大学運営支援業務に従事したい業務や行ってみたい業務および操作できるソフトや免許・資格・技能などを記載し、キャリアセンターに登録申請を行います。
- ・ 登録者の中から、雇用部署が要望に応じることができる該当者を選考し、雇用します。

(具体的な業務例)

- 学童保育支援業務
- 学術リポジトリコンテンツ作成・収集・登録業務
- 学生コーディネーター (S C) (障害学生の修学上等における支援業務)
- 学生テクニカルスタッフ (T S) (アクセシビリティ支援業務の技術補佐 (パソコン、機械の整備))
- 図書館の受け付け窓口業務
- 学内のホームページの作成・管理業務 など

【お問い合わせ先】

キャリアセンター キャリア支援グループリーダー 岩澤 芳和 TEL:082-424-6986、FAX:082-424-6989
